

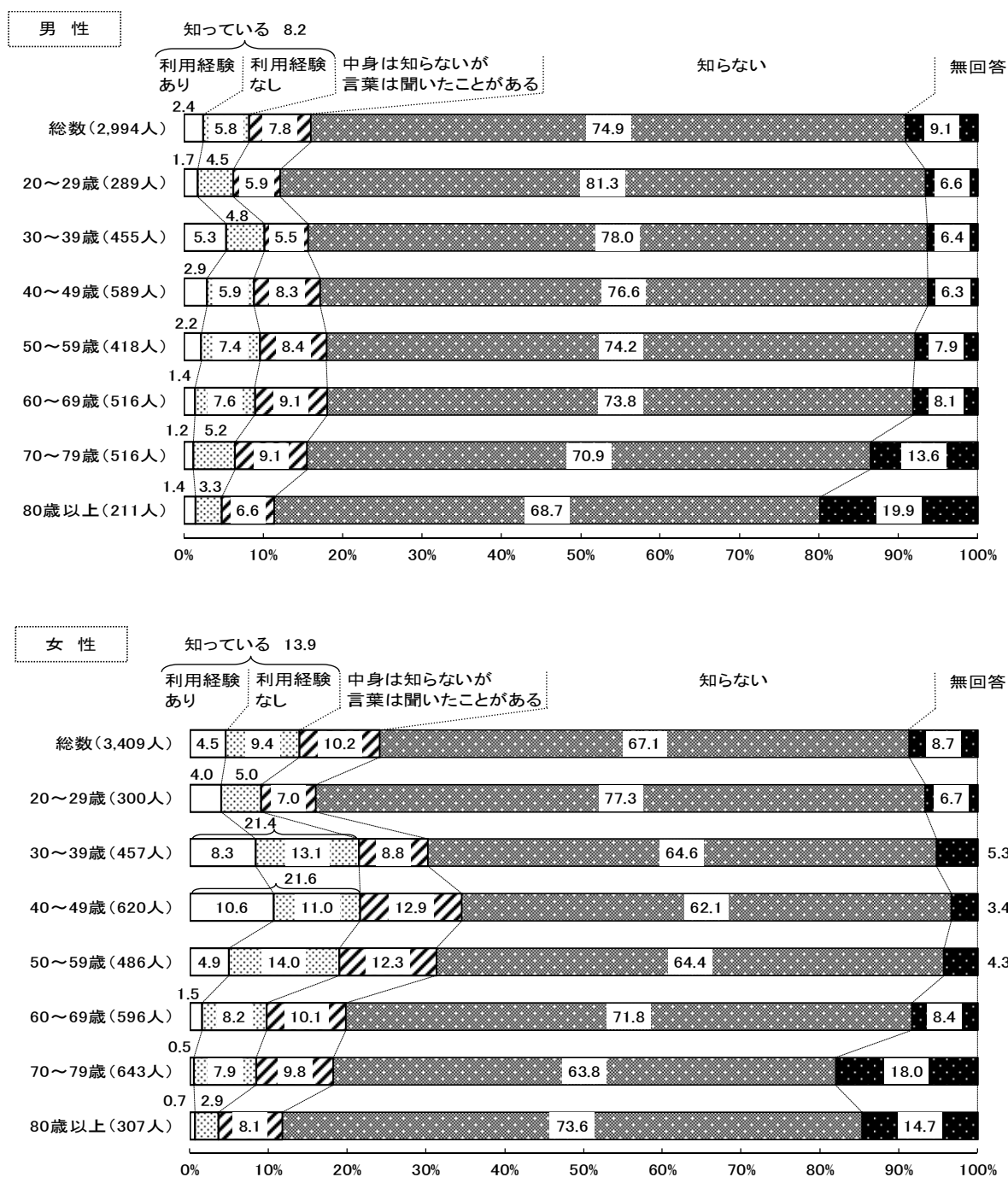
(9) 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度－性・年齢階級別

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」を「知っている」割合は、30代、40代女性は、2割

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度について、性・年齢階級別にみると、「知っている」の割合は、男性は8.2%、女性は13.9%と、女性の方が5.7ポイント高くなっている。特に女性の30代、40代は、2割を超えている。

「利用経験あり」の割合が最も高いのは、40代女性で10.6%であった。(図Ⅱ-11-10)

図Ⅱ-11-10 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度－性・年齢階級別



(10) 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度

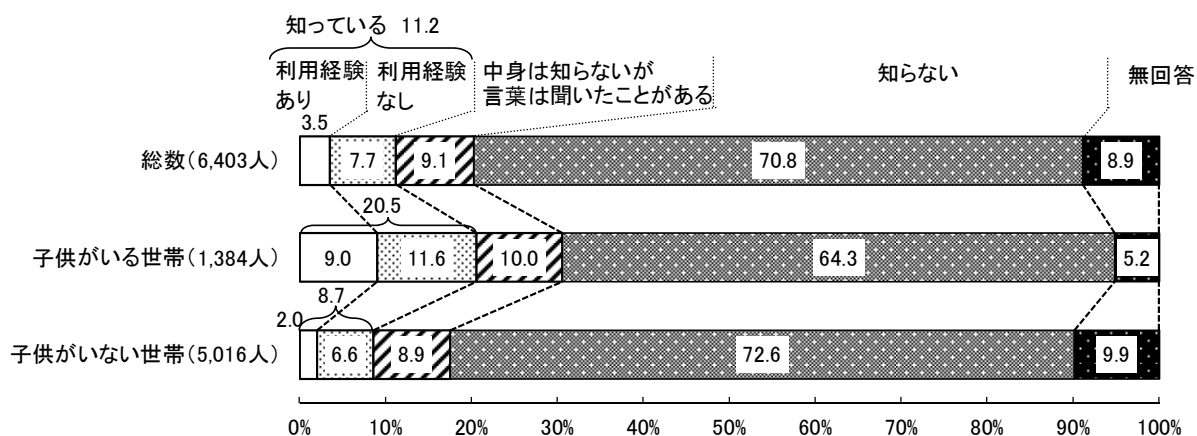
－世帯類型（18歳未満の子供がいる世帯）別

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」を「知っている」割合は、18歳未満の子供がいる世帯に属する人は2割

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度について、世帯類型（18歳未満の子供がいる世帯）別にみると、「知っている」の割合は、18歳未満の子供がいる世帯に属する人は20.5%、子供がいない世帯に属する人は8.7%と、子供がいる世帯に属する人の方が11.8ポイント高くなっている。（図Ⅱ-11-11）

図Ⅱ-11-11 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度

－世帯類型（18歳未満の子供がいる世帯）別



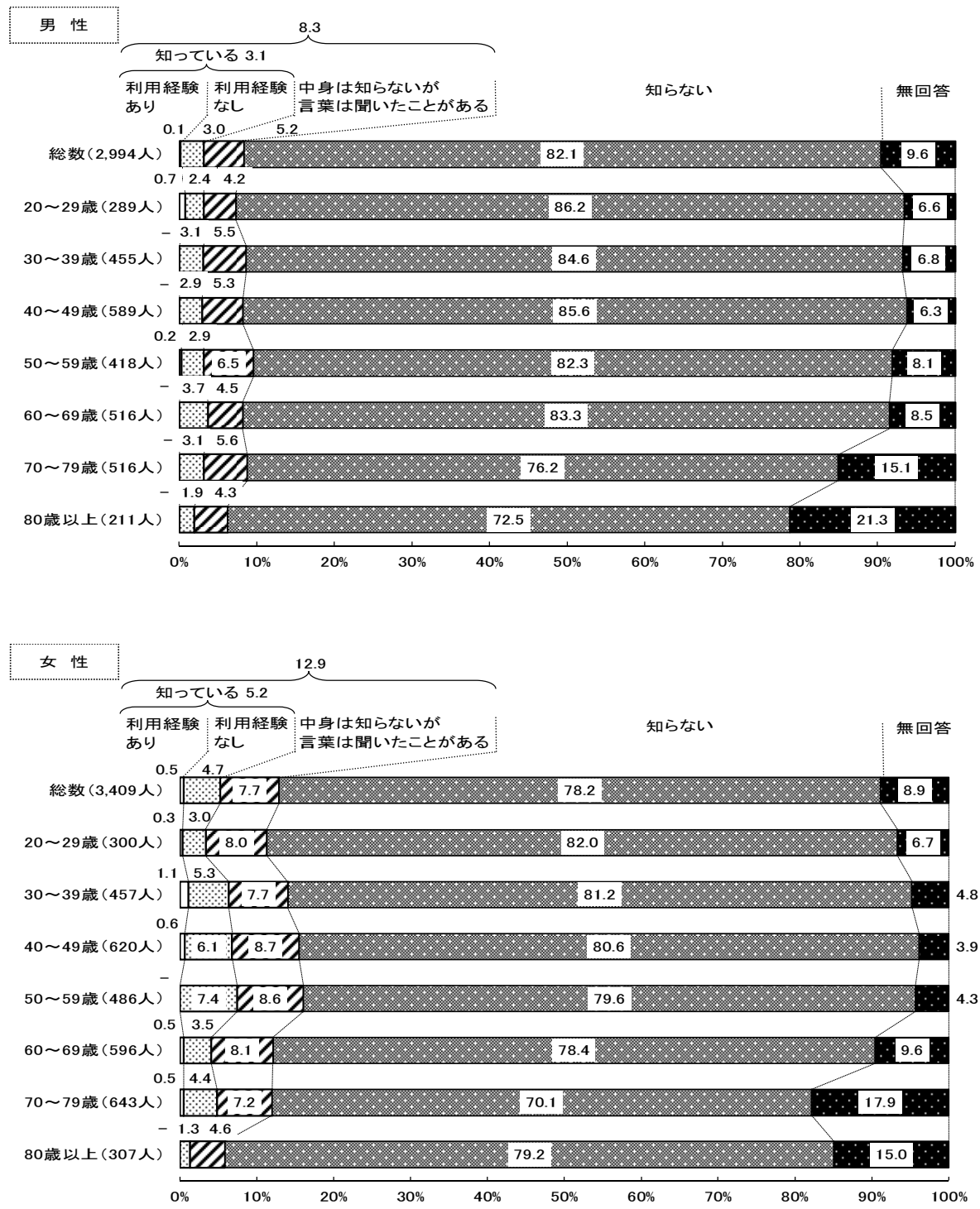
注) 統計比率を合算した比率(20.5%、8.7%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

(11) 「暮らしの中の医療情報ナビ」の認知度－性・年齢階級別

「暮らしの中の医療情報ナビ」を「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性8%、女性13%

「暮らしの中の医療情報ナビ」の認知度について、性・年齢階級別にみると、「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性は8.3%、女性は12.9%となっている。(図Ⅱ-11-12)

図Ⅱ-11-12 「暮らしの中の医療情報ナビ」の認知度－性・年齢階級別

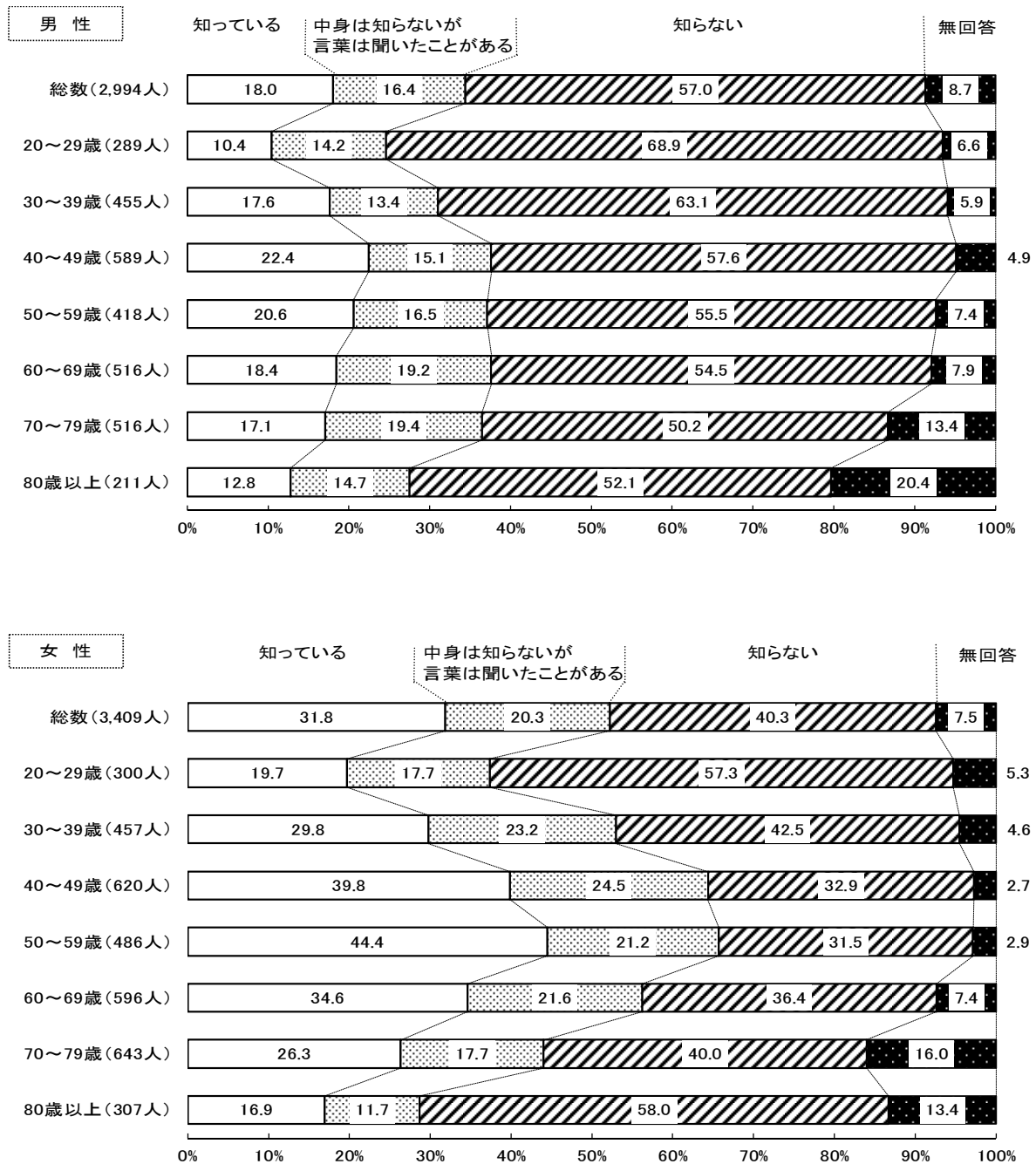


(12) 緩和ケアの認知度－性・年齢階級別

緩和ケアを「知っている」割合は、男性より女性の方が高い

緩和ケアの認知度について、性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、男性は18.0%、女性は31.8%と、女性の方が13.8ポイント高くなっている。特に女性の40代、50代の割合が高く、それぞれ39.8%、44.4%と約4割となっている。(図Ⅱ-11-13)

図Ⅱ-11-13 緩和ケアの認知度－性・年齢階級別

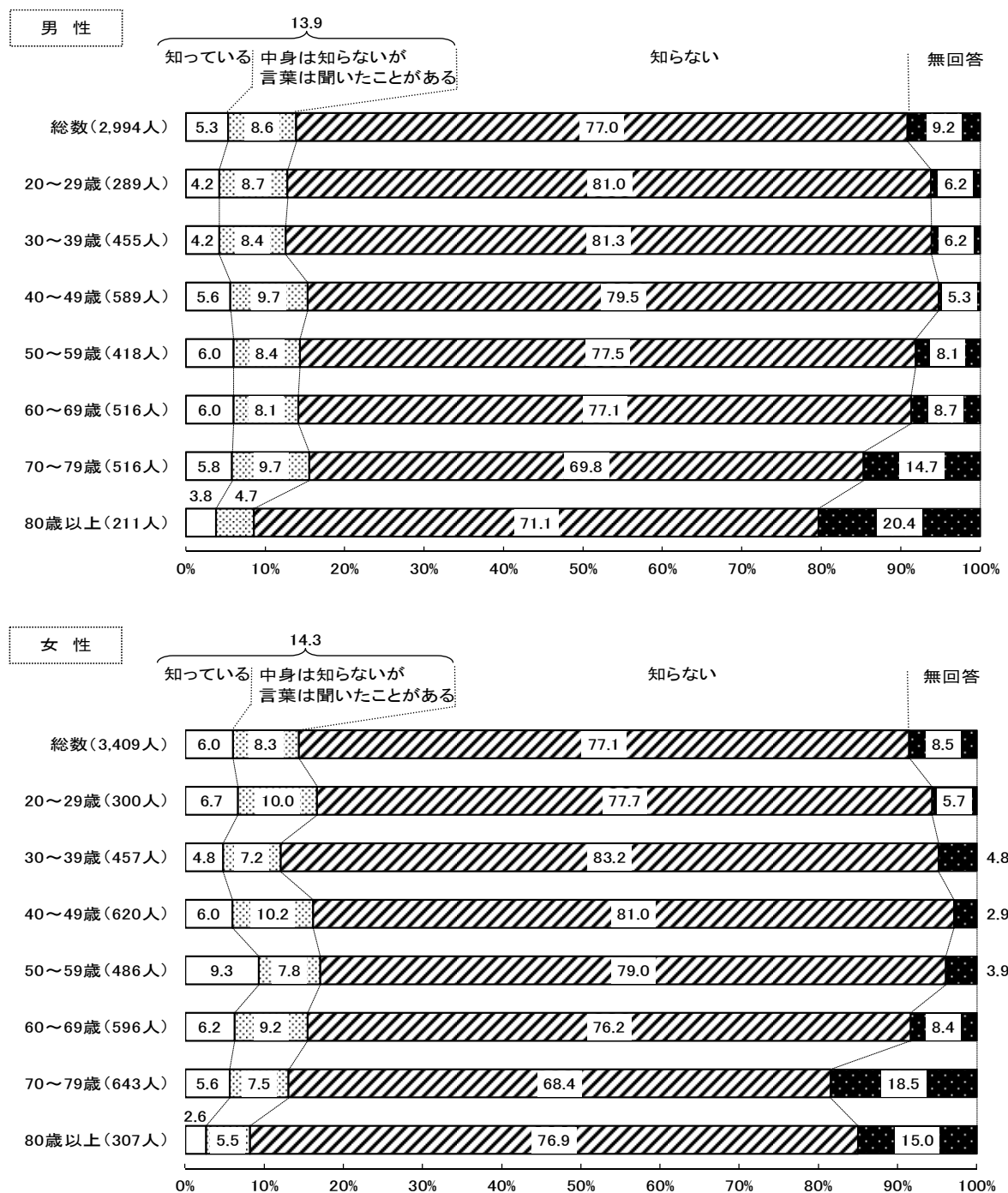


(13) がん登録の認知度－性・年齢階級別

がん登録を「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男女とも1割強

がん登録の認知度について、性・年齢階級別にみると、「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性は13.9%、女性は14.3%であった。(図Ⅱ-11-14)

図Ⅱ-11-14 がん登録の認知度－性・年齢階級別

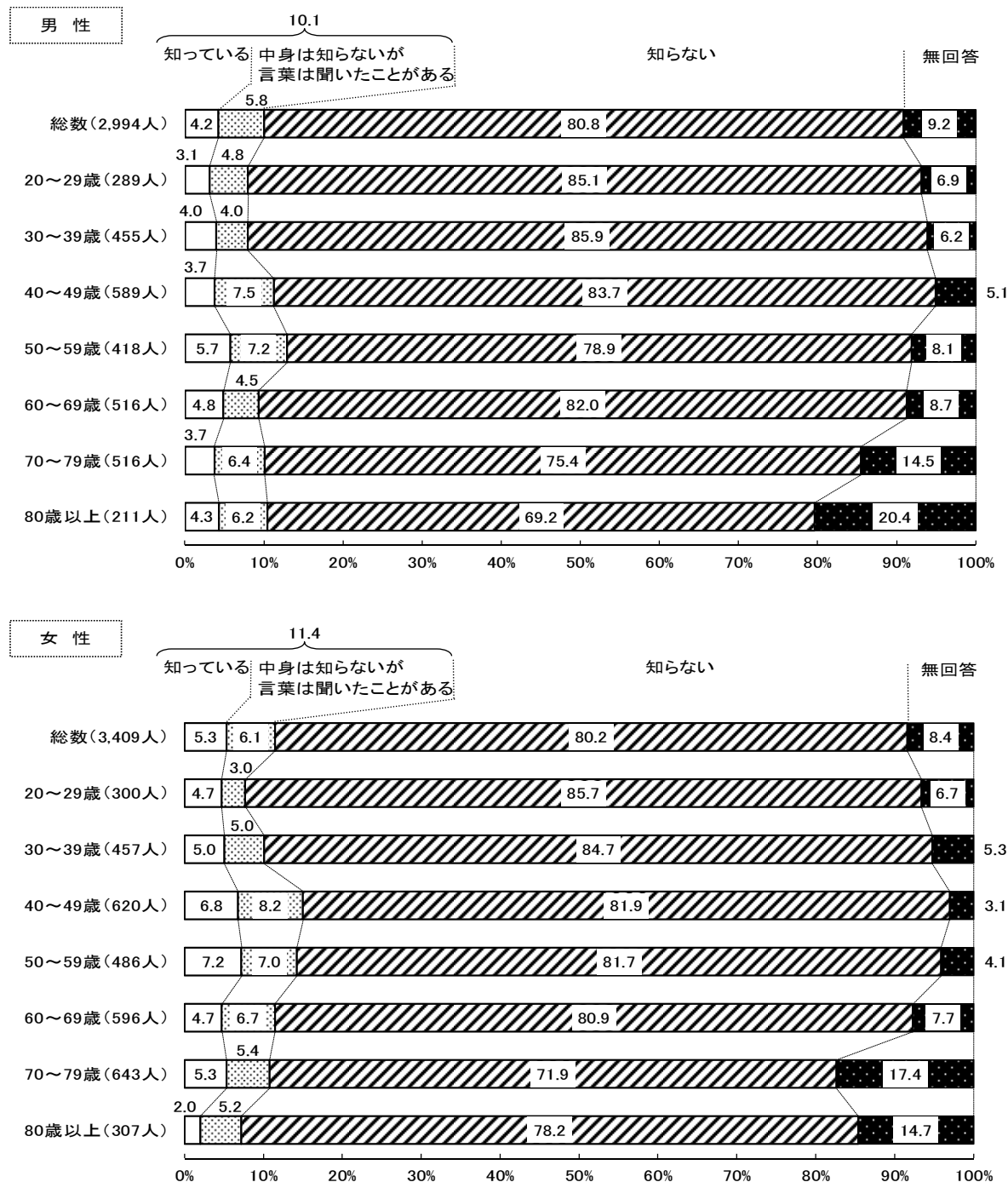


(14) 救急医療の東京ルールの認知度－性・年齢階級別

救急医療の東京ルールを「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男女とも1割

救急医療の東京ルールの認知度について、性・年齢階級別にみると、「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性は10.1%、女性11.4%であった。(図Ⅱ-11-15)

図Ⅱ-11-15 救急医療の東京ルール認知度－性・年齢階級別



注) 統計比率を合算した比率(10.1%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

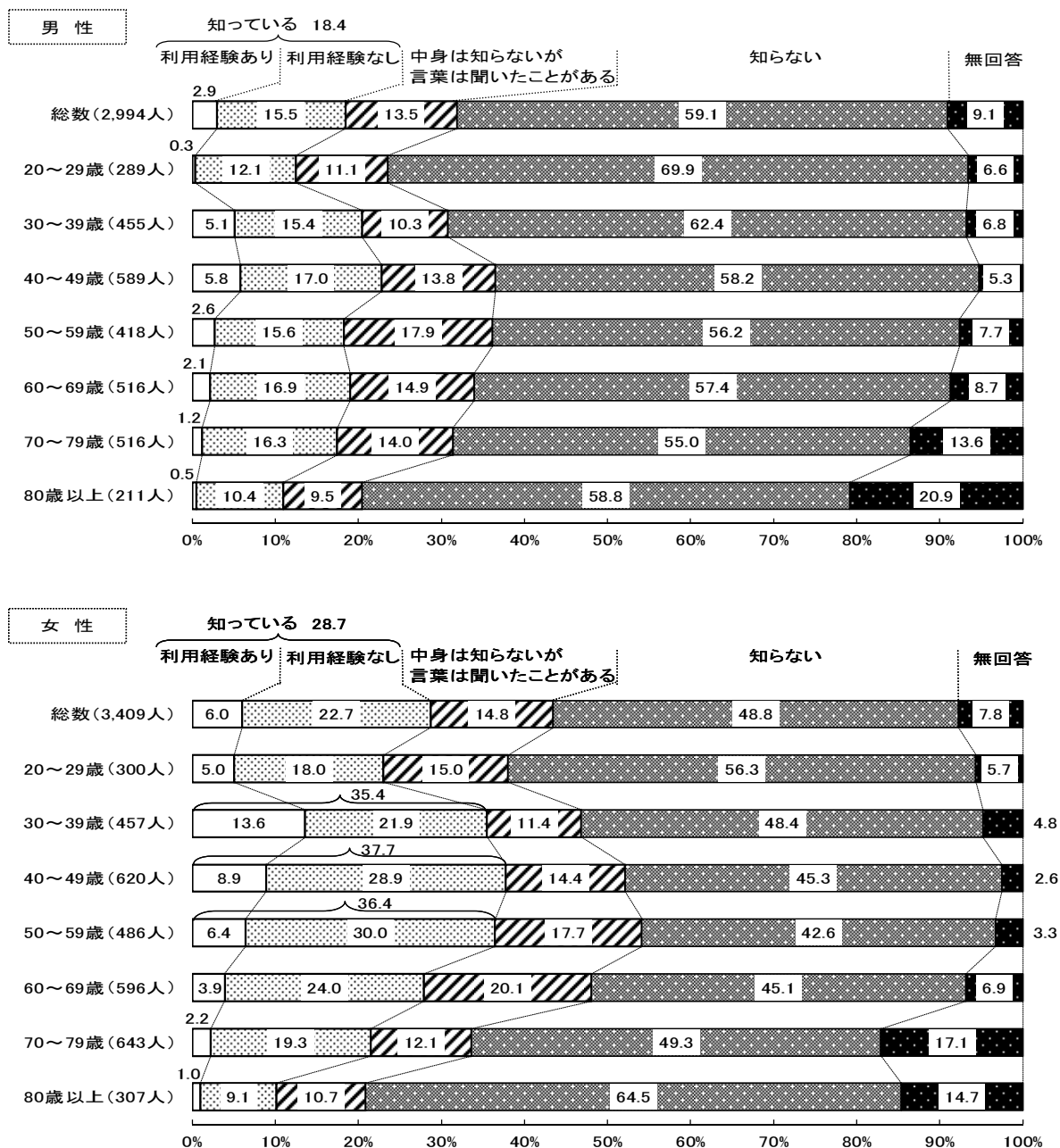
(15) 救急相談センター（#7119）の認知度－性・年齢階級別

救急相談センター（#7119）を「知っている」割合は、30代～50代の女性が高く、3割を超えている

救急相談センター（#7119）の認知度について、性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、男性は18.4%、女性は28.7%で、女性の方が10.3ポイント高くなっている。特に女性の30代～50代は、3割を超えている。

「利用経験あり」は、女性の30代が最も高く、13.6%となっている。（図Ⅱ-11-16）

図Ⅱ-11-16 救急相談センター（#7119）の認知度－性・年齢階級別



注) 統計比率を合算した比率(35.4%、37.7%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

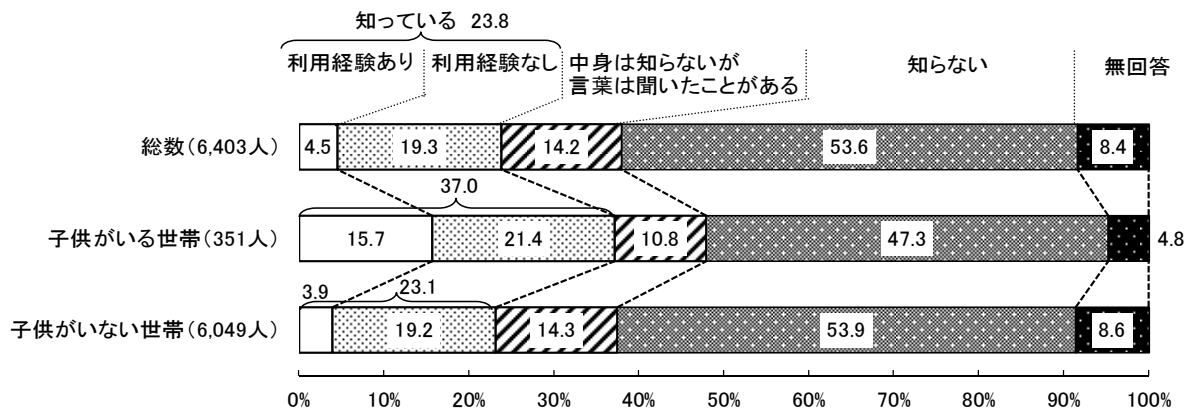
(16) 救急相談センター（#7119）の認知度－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

救急相談センター（#7119）を「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人は4割弱

救急相談センター（#7119）の認知度について、世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別にみると、「知っている」の割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人は37.0%、子供がいない世帯に属する人は23.1%と、子供がいる世帯に属する人の方が13.9ポイント高くなっている。

「知っている」のうち「利用経験あり」の割合は、子供がいない世帯に属する人より、3歳未満の子供がいる世帯に属する人の方が高くなっている。（図Ⅱ-11-17）

図Ⅱ-11-17 救急相談センター（#7119）の認知度  
－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別



注) 統計比率を合算した比率(37.0%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

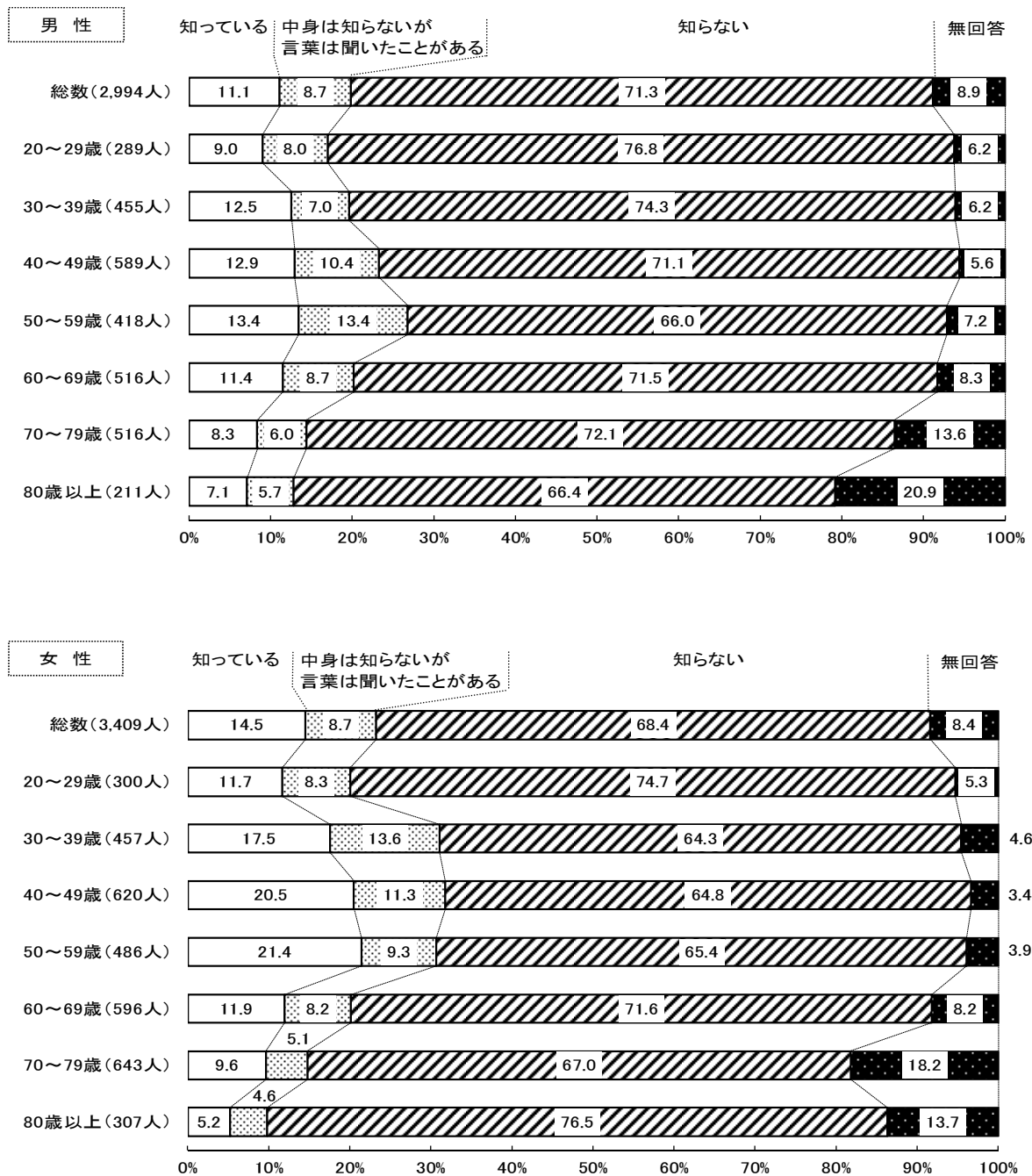


(17) 救急搬送トリアージの認知度－性・年齢階級別

救急搬送トリアージを「知っている」割合は、30代～50代女性が高く、約2割

救急搬送トリアージの認知度について、性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、男性は11.1%、女性は14.5%となっている。特に女性の30代女性(17.5%)、40代女性(20.5%)、50代女性(21.4%)は、15%を超えている。(図Ⅱ-11-18)

図Ⅱ-11-18 救急搬送トリアージの認知度－性・年齢階級別

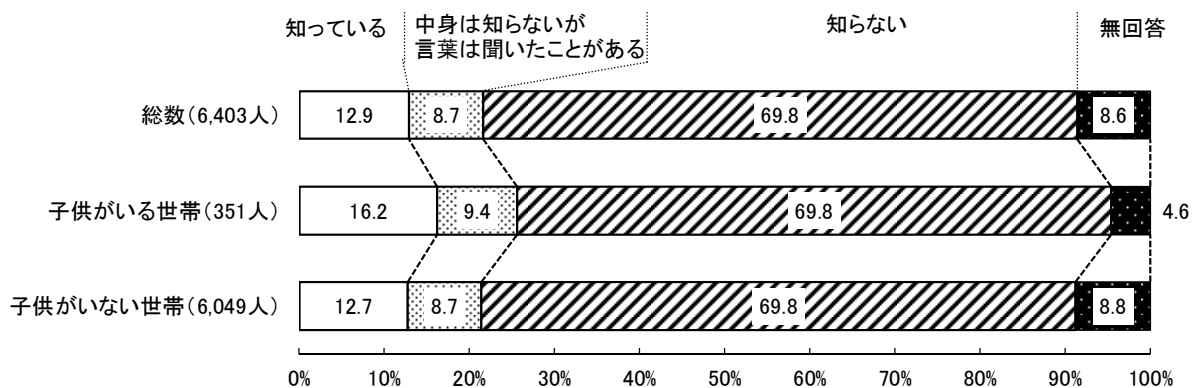


(18) 救急搬送トリアージの認知度－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

救急搬送トリアージを「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人は16%

救急搬送トリアージの認知度について、世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別にみると、「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人は16.2%、子供がいない世帯に属する人は12.7%と、子供がいる世帯に属する人の方が3.5ポイント高くなっている。（図Ⅱ-11-19）

図Ⅱ-11-19 救急搬送トリアージの認知度－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

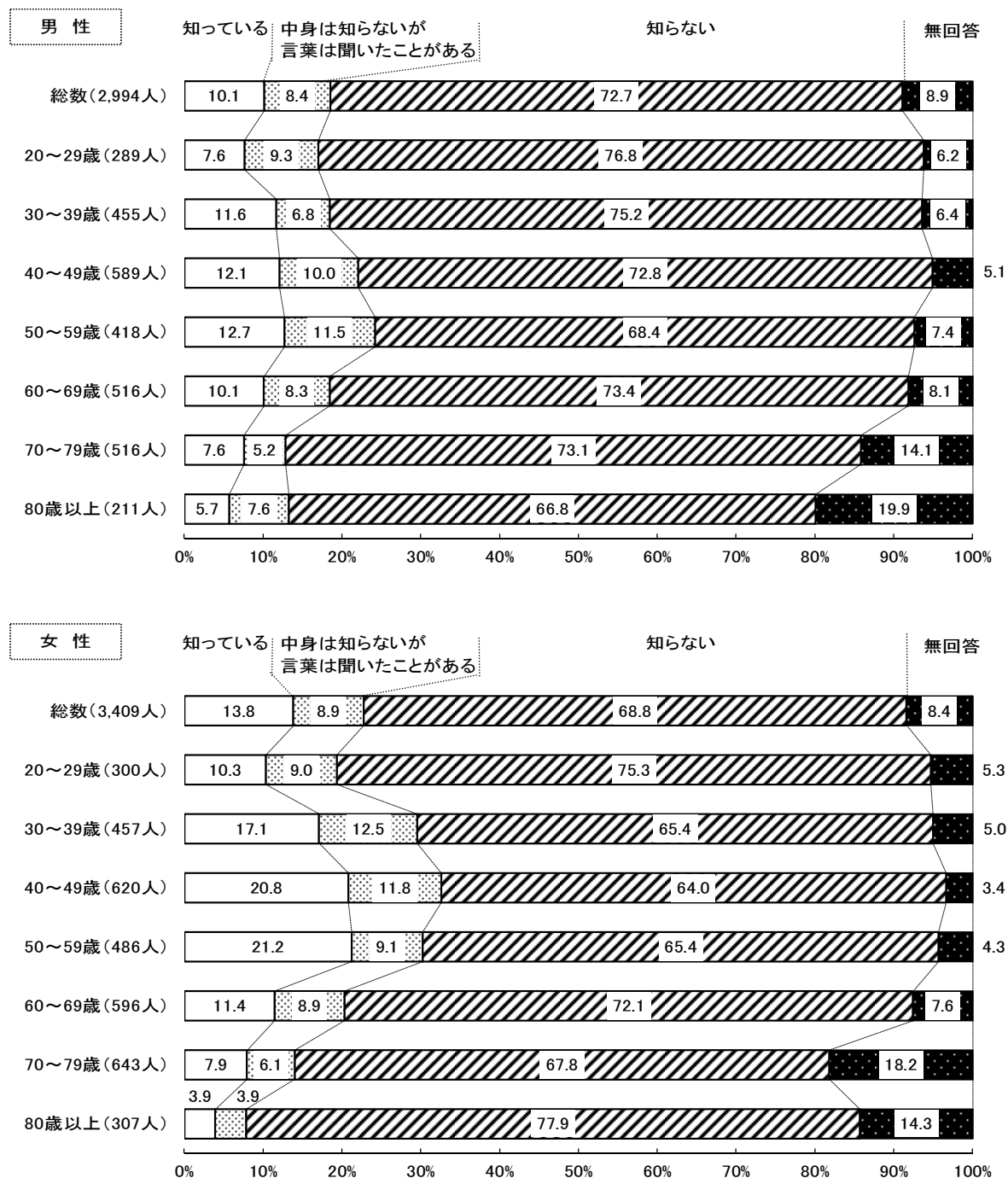


(19) 救急外来トリアージの認知度－性・年齢階級別

救急外来トリアージを「知っている」割合は、30代～50代女性が高く、約2割

救急外来トリアージの認知度について、性・年齢階級別にみると、「知っている」の割合は、男性は10.1%、女性は13.8%となっている。特に女性の30代女性(17.1%)、40代女性(20.8%)、50代女性(21.2%)が高く、15%を超えている。(図Ⅱ-11-20)

図Ⅱ-11-20 救急外来トリアージの認知度－性・年齢階級別

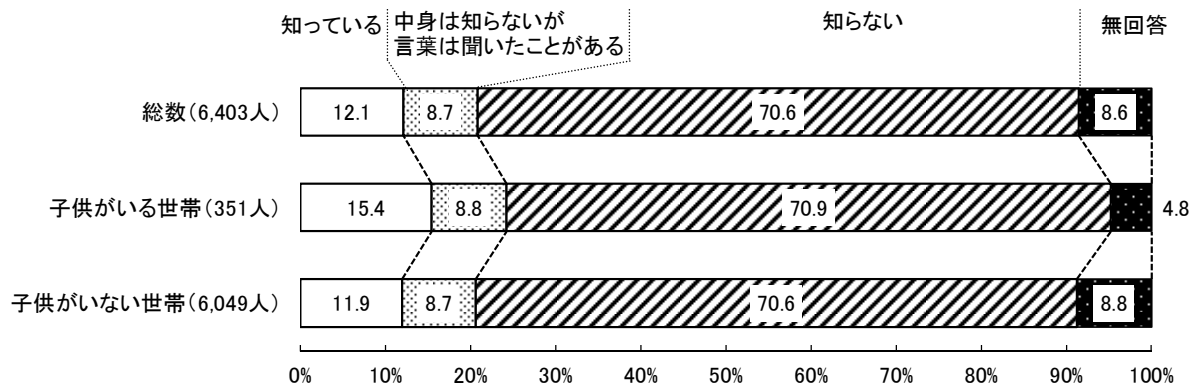


(20) 救急外来トリアージの認知度－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

救急外来トリアージを「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人は15%

救急外来トリアージの認知度について、世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別にみると、「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人は15.4%、子供がいない世帯に属する人は11.9%と、子供がいる世帯に属する人の方が3.5ポイント高くなっている。（図Ⅱ-11-21）

図Ⅱ-11-21 救急外来トリアージの認知度－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別



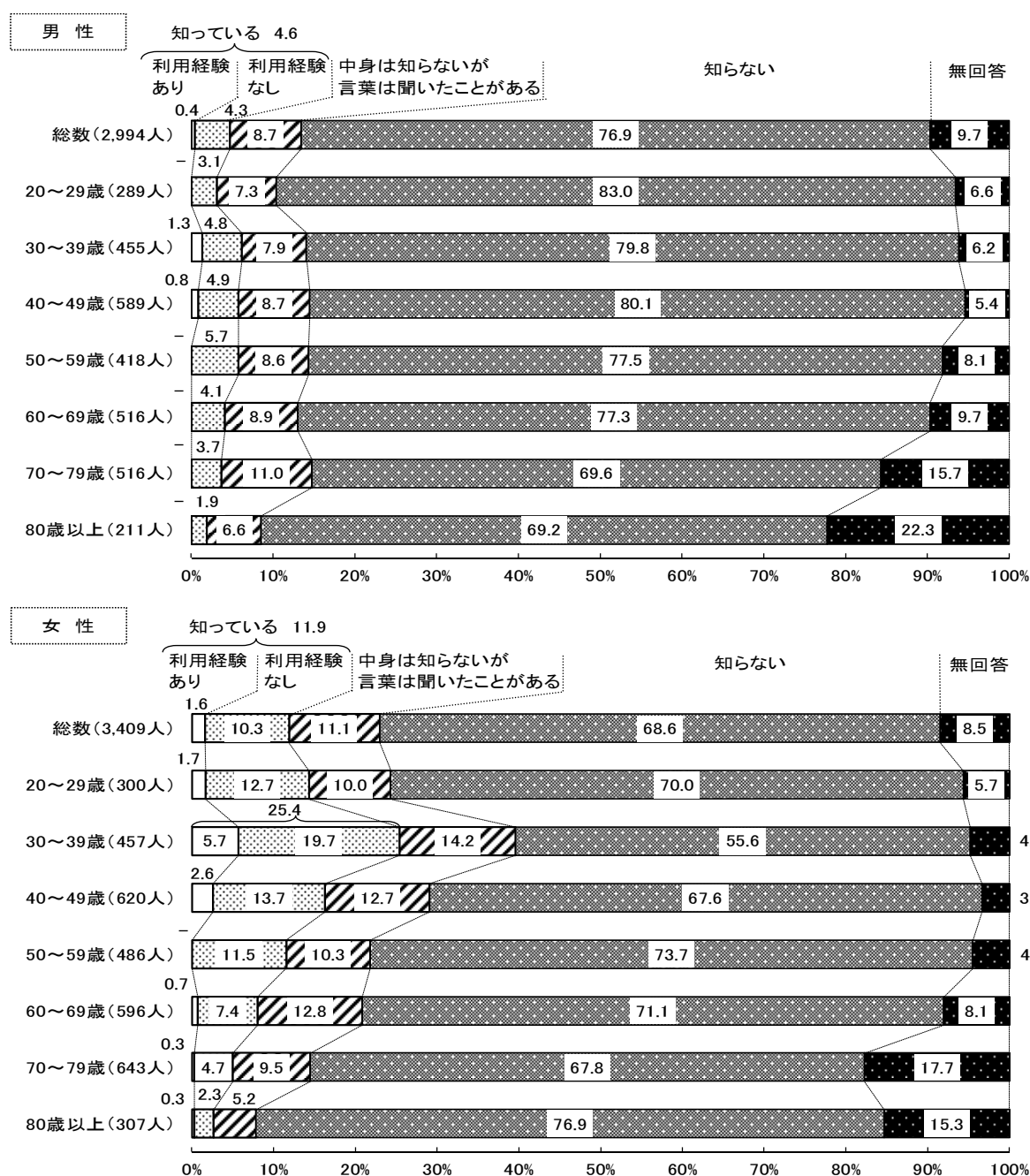
(21) 母と子の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度－性・年齢階級別

母と子の健康相談室（小児救急相談）（#8000）を「知っている」割合は、男性より女性の方が高い

母と子の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度について、性別にみると、「知っている」の割合は、男性は4.6%、女性は11.9%と女性の方が7.3ポイント高くなっている。

年齢階級別では、「知っている」の割合は、女性では、30代が最も高く25.4%で、30代女性は、「利用経験あり」の割合も5.7%と最も高くなっている。（図Ⅱ-11-22）

図Ⅱ-11-22 母と子の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度－性・年齢階級別



注) 統計比率を合算した比率(4.6%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

(22) 母と子の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度

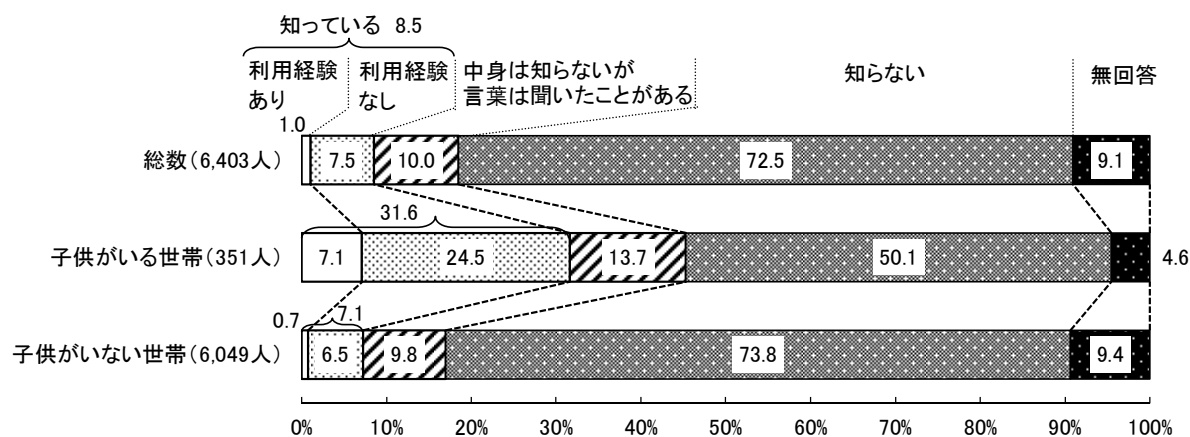
—世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

母と子の健康相談室（小児救急相談）（#8000）を「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人は3割

母と子の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度について、世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別にみると、「知っている」の割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人は31.6%、子供がいない世帯に属する人は7.1%と、子供がいる世帯に属する人の方が24.5ポイント高くなっている。（図Ⅱ-11-23）

図Ⅱ-11-23 母と子の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度

—世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別



注) 統計比率を合算した比率(7.1%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。